



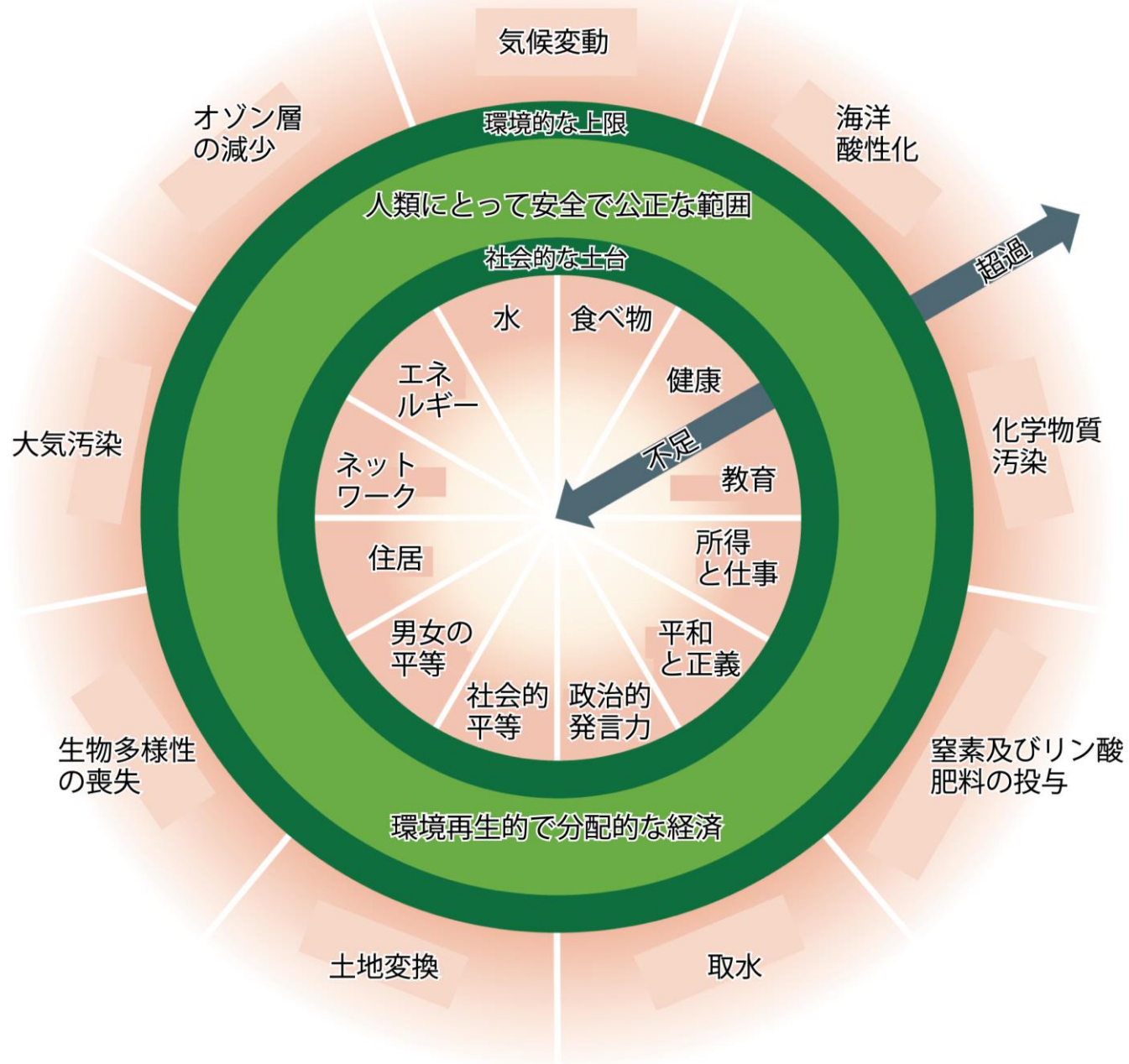
※日本語訳はISNで作成



OECD 2030

- ・ 学生が学習を行った者である場合、彼らは「学習方法を学んだ」可能性が高くなります。これは、生涯を通じて使用できる非常に貴重なスキルです。

+



社会科

知識とカリキュラム

- 将来に備えたカリキュラムに参加している子供は、学校の知識の文脈に沿った理解の中で出会った情報と関わり、問題を**より深く理解するためのクリティカルな質問**をすることができるようにしなければなりません。

(Young、Lambert、Roberts & Roberts、2014)

地理教育に関する 2016年 国際憲章

地理教育からの洞察

- 地理は...**密接に相互に繋がる世界**に住む21世紀の市民にとって重要なテーマであり方策でもあります。それは私たちがこの世界で**持続可能な**生活をするこの意味についての疑問に直面することを可能にします。
- 地理的な教育を受けた個人は、人間関係と、自然環境と他者の両方に対する責任を理解することになります。地理教育は、人々がすべての生きている種と**調和して存在する**方法を学ぶのに役立ちます。
- 人々自身の経験に基づいて、地理を学ぶことは、疑問を形成し、知的スキルを開発し、生活に影響を与える**課題に対応する**のに役立ちます。



2016 CGE CHARTER

- 地理教育は、現在および将来の世界で**責任ある活動的な**市民の育成に不可欠です。
- 地理学は、教育のすべての段階における主題になります。情報を提供し、可能にし、刺激するものです。生涯に渡って楽しむことができるもので、私たちが住む世界を**理解する**ことに貢献するものでもあります。

地理教育に関する 2016年 国際憲章



2016 CGE CHARTER

- 地理的な視点は、多くの現代的な課題の理解を深めるのに役立ちます。例えば、**気候変動**、**食料安全保障**、エネルギーの選択、天然資源の乱開発、過剰な都市化などです。

地理的な 知識

- 世界についての新しい考え方
 - 分析、説明、理解の強力な方法。
 - 生徒自身の地理的知識にある程度力を与えることができます。
 - 若者が地域、国、世界の重要な問題についての議論を追いかけ、参加することを可能にします。
 - 世界の知識
-
- A. Maude (2017)

ケイパビリティ (潜在能力)

- 価値ある生活を実現する
個人の潜在能力
- 良い人生を送るための人の
潜在能力は、価値ある「あ
り方とやり方」の組み合わせ
によって定義されます。例え
ば、実際交流している他者と
の良い関係性を持つこと、健
康であることなどです

ジオ・ケイパビリティ (Solem、Lambert & Tani、2013)

個人の自律性と思考の自由を促進します。

市民権と持続可能性の観点から、人生の選択を行い、行使します。

文化と世界経済の文脈において、創造的で生産的な可能性を理解します。



ジオ・ケイパビリティ



- 「地理教育がなければ、若者は世界での自分の立場を理解したり、疑問を呈したりすることさえできません」
- 私たちが教える子供たちは誰ですか？
この時代に子供たちは、どんな力を完全に身につける必要がありますか？
地理を教えることはどのように若者の教育に貢献することができますか？

教育は、子供たちが社会で役割を果たせるように、知識、技能、理解を子供たちに身に付けるものです。これらの機能は、ケイパビリティ（潜在能力）を与えていきます。

21世紀 の世界

- ・ 不安定、不確実、
複雑、曖昧
- ・ **変化の量と速度**、および
これらによって環境と社
会の両方にもたらされる
影響の**多様性**
- ・ 持続可能性への挑戦

21世紀の教育

- 学習：秘められた宝。
一般に「ドロールレポート」と呼ばれる報告書（1996）より。
- 21世紀教育国際委員会の
ユネスコへの報告